

中学1年生の家庭学習の方法や内容

国語	・読書の時間を確保しましょう。 ・漢字の小テストに向けて、毎日の漢字練習に取り組みましょう。 ・新しい単元に入る時には、辞書を引いて意味調べをしましょう。 ・新しく出てきた言い回しを使った短文作りをし、表現力を高めましょう。 ・ことわざ・慣用句・故事成語を覚え、意味も理解しておきましょう。 ・音読をしましょう。学習後は、ワークを解いて理解を深めましょう。
社会	・予習として、次の授業でどのようなことを学習するのかをつかんでおきましょう。 ・復習として、授業のめあては何だったのか、授業の最後にどのようなことを振り返ったのかをよく思い出し、重要だと思うことやすぐに忘れてしまいそうなことをノートに整理しておきましょう。 ・テスト前は範囲表と教科書やノートをよくみて要点を確認し、プリントのやり直しや、ワークの問題演習をしましょう。
数学	・予習よりも復習に重点を置きましょう 授業の中で、間違えたり解らなかつたりした問題を、やり直しノートや学習ノートを利用して何度も繰り返し解き直す習慣をつけましょう。 ・ワーク（クリアノート）を繰り返し解いて、理解を深めましょう 間違えた問題は何度も解き直しをしましょう。A、B（基本）問題は自分で解けるまで何度も解き直しをし、C問題（応用）はチャレンジしてみて、解らなければ解答を見て理解できるまで解き直しましょう。
理科	・身近な現象に対してどうしておきるのかなど探究する癖をつけましょう。 ・教科書の太字で書いてある言葉を理解し、覚えましょう。 ・丸暗記で知識を詰め込むのではなく、「なぜそのような結果になったのか」というように、理由を説明できるようになるまで、理解しましょう。 ・ワークを繰り返し解いて、理解を深めましょう。
英語	1年生では、より積極的に英語を使い表現する力を伸ばすために、基本的な単語の習得と基礎文法の理解に努めましょう。家庭においては、予習を確実にやり、習った内容をその日の内にワーク等を用いて復習することが理想です。習った単語や教科書の本文を音読すること、学習ノート等を用いて何度も繰り返し書いて覚えること、誰かに質問をすることも効果的です。書く時は丁寧な字を心がけましょう。1年生の内容は1年生のうちに習得し、2年生でのスキルアップにつなげていきましょう。